

5. 集約化・撤去

- 迂回路が存在する橋梁について、今後の利用状況や施設の必要性、利用環境の変化などを踏まえ、維持管理等で効果的である場合に集約化・撤去の検討を行います。
令和9年度までに1橋程度の集約化・撤去を検討し、将来の維持管理コストを約1百万円程度縮減することを目指す。

6. 対象橋梁の状態及び点検時期、修繕内容・時期

平成26～令和元年度に実施された橋梁点検結果における橋梁健全性診断の結果をまとめた。
健全性診断別橋梁数の内訳を下表1に示す。

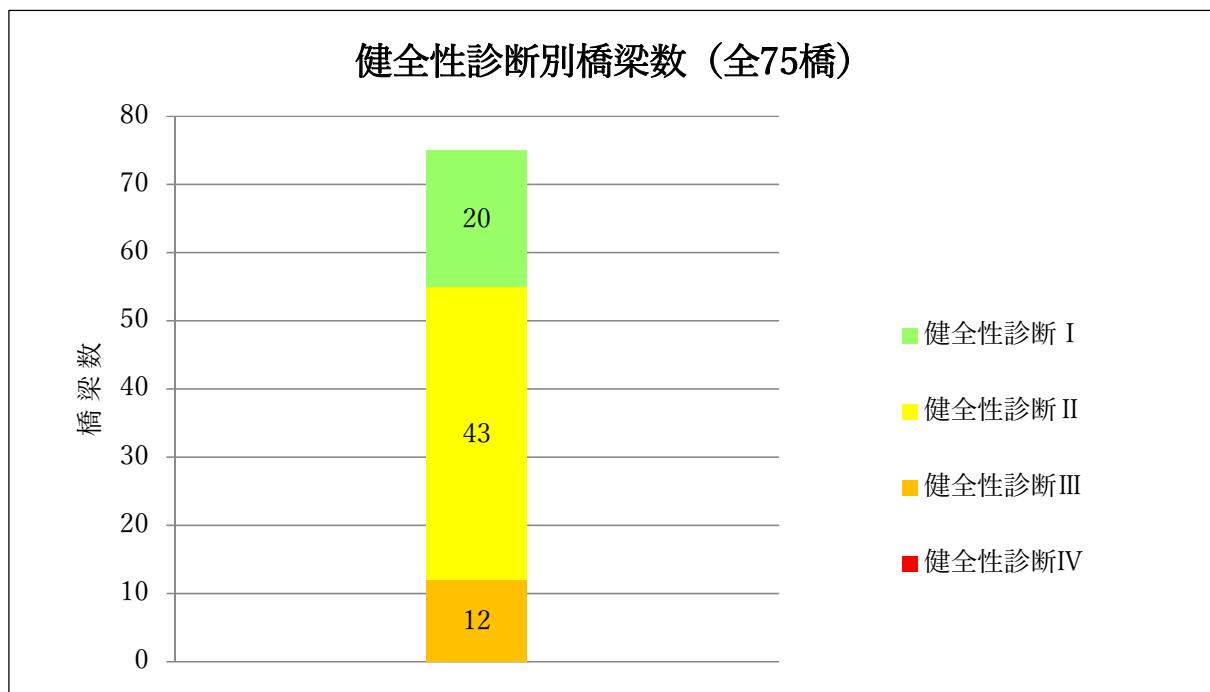


表1 対象橋梁の状態（健全性診断結果）

※0031_美農里橋を除いて75橋としている。

- 様式1-2による。